

# コンシューマーファイナンス・カード



三井住友カード  
代表取締役社長  
久保 健



セディナ  
代表取締役社長  
中西 智



SMBCコンシューマーファイナンス  
代表取締役社長  
幸野 良治

## 2015年度実績

三井住友カードは、拡大する国内キャッシュレス市場の捕捉と、インバウンド需要の取り込みにより、市場を上回るカード取扱高の拡大を実現しました。セディナは提携カードを主とした推進に加え、信販事業においても取扱高を確実に積み上げました。SMBCコンシューマーファイナンスは、提携している銀行のカードローンの伸長に伴い保証事業残高が1兆円に達しました。この結果、2015年度の3社合計の連結粗利益は前年度比309億円増の6,071億円、連結業務純益は前年度比86億円増の2,210億円となりました。

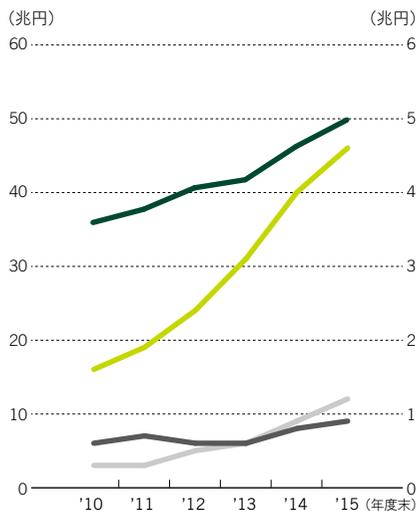
## 事業環境と今後の戦略

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてキャッシュレス決済の環境整備が官民一体で進められ、また金融とICTの融合に向けた動きが加速しています。こうした環境を踏まえ、三井住友カードは、利便性の高い決済サービスの提供、加盟店開拓のさらなる強化、提携先からの業務委託の強化を進めていきます。

また、セディナは、カード・信販・ソリューション事業を併せ持つ強みを活かし、総合決済ビジネスの提案を一層強化していきます。

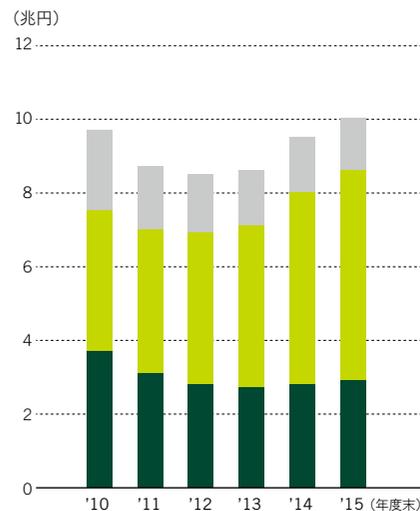
SMBCコンシューマーファイナンスは、無担保カードローン市場における残高減少が底打ちするなか、自社チャネルによるカードローン残高の拡大と、提携している銀行のチャネルを活用した保証事業の推進により、個人のお客さまの資金ニーズに幅広く応え、より良いサービスの安定的かつ継続的な提供を目指します。

キャッシュレス決済の市場規模推移



— クレジットカード(左軸) — 電子マネー(右軸)  
— デビットカード(右軸) — プリペイドカード(右軸)  
(出所)日本クレジット協会、日本銀行、日本デビットカード推進協議会 一部推計あり

消費者ローンの市場規模推移

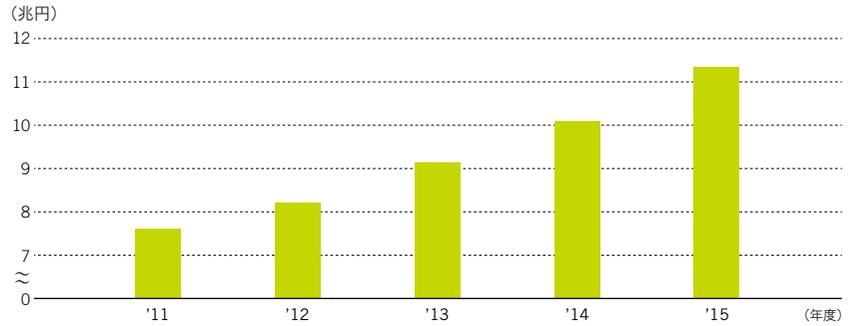


■ 消費者金融業者  
■ 銀行・信金 ■ クレジットカード会社  
(出所) 矢野経済研究所の推計値

### ▶ 三井住友カード

三井住友カードは、40年以上にわたる、国内における「VISA」のパイオニアです。クレジットカード業界のリーディングカンパニーとして、伝統的なクレジットカードサービスに加えて、フィンテック等の先端技術も活用したスマホ決済等、新たな決済サービスを積極的に提供しています。

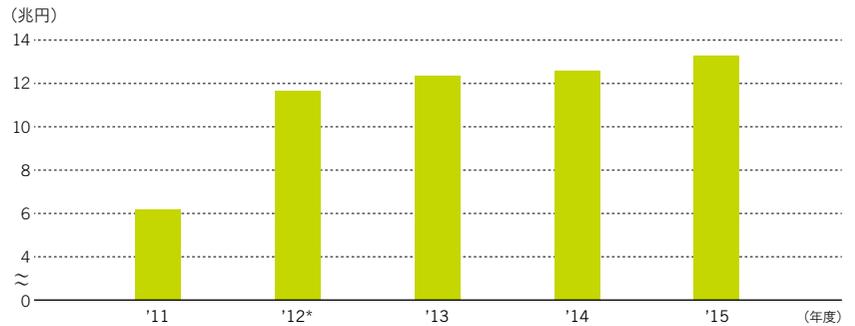
クレジットカード取扱高



### ▶ セディナ

セディナは、総合決済ファイナンスカンパニーとして、①日常的な支払手段としてのクレジットカード、②高額な商品・サービス購入時の支払手段としての分割払い、③反復継続的な支払のための集金代行やファクタリング等と、フルレンジの支払手段を提供することで、お客さまの多様なニーズに対応しています。

総合決済取扱高

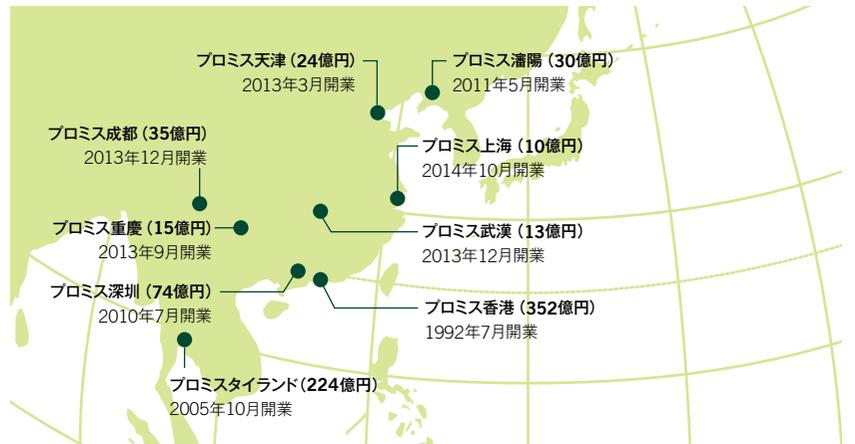


\* SMBCファイナンスサービスの連結子会社化による増加分を含む

### ▶ SMBCコンシューマーファイナンス

SMBCコンシューマーファイナンスは、個人のお客さまへの小口資金の融資を行っているほか、提携金融機関への保証事業を行っています。さらに、国内で培ってきた与信、債権管理、マーケティング等のノウハウを活かし、中国やタイで個人のお客さま向けの無担保・無保証の小口資金の融資を展開して、着実な業容拡大を図っています。

海外現地法人 貸付金残高



注：( )内の数値は、2015年度末時点貸付金残高 (現地通貨を円換算)